

表 老研式活動能力指標

手段的 自立	1 バスや電車を使って1人で外出できますか	1. はい	2. いいえ
	2 日用品の買い物ができますか	1. はい	2. いいえ
	3 自分で食事の用意ができますか	1. はい	2. いいえ
	4 請求書の支払いができますか	1. はい	2. いいえ
	5 銀行貯金・郵便貯金の出し入れが自分でできますか	1. はい	2. いいえ
知的 能動性	6 年金などの書類が書けますか	1. はい	2. いいえ
	7 新聞を読んでいますか	1. はい	2. いいえ
	8 本や雑誌を読んでいますか	1. はい	2. いいえ
	9 健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい	2. いいえ
社会的 役割	10 友だちの家を訪ねることがありますか	1. はい	2. いいえ
	11 家族や友だちの相談にのることができますか	1. はい	2. いいえ
	12 病院を見舞うことがありますか	1. はい	2. いいえ
	13若い人に自分から話しかけることがありますか	1. はい	2. いいえ

各項目の「はい」が1点、「いいえ」を0点とし、13点満点として生活での自立を評価する。

古谷野亘他：地域老人における活動能力の測定－老研式活動能力指標の開発－日本公衆衛生雑誌1987；34：109-114から引用

事・生産活動の項目
退職後の高齢者を想定してのことから「仕事・生産活動」の項目について、「手段的自立」「知的能動性」「社会的役割」の三つの群の合計13項目について、「はい」「いいえ」で回答します。満点は13点です。

提案したもので、30年以上も前のものです。が、基本的な指標として今でも用いられています。

自立した生活機能の指標にはどのようなものがあるでしょうか。

わが国では、おもに老研式活動能力指標表が用いられてきました。これは古谷野亘さんが86年に地域に住む高齢者の生活能力を測定する指標として提案したもので、30年以上も前のものです。が、基本的な指標として今でも用いられています。

厚生労働省老健局の日常生活圏域ニーズ調査の結果報告書（2010年）によれば、この指標で評価すれば、自立している人は85歳以上であっても平均は11点以上です。

11点以上です。

11点未満で、80歳代では10点未満でした。

すでに支援状態にあ

い」「いいえ」で回答します。満点は13点です。

要支援・要介護状態となるおそれの高い状態にある人は70歳代では11点未満で、80歳代では10点未満でした。

※次回は「新時代の高齢者の活動能力指標

です。

発されています。

ます。

ます。